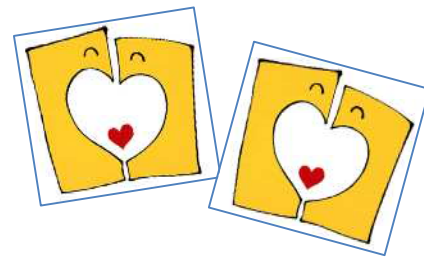


道徳通信

中島中学校 2学年道徳通信 No.3 R7.6.23



教材名『ジコチュウ』（相互理解・寛容）

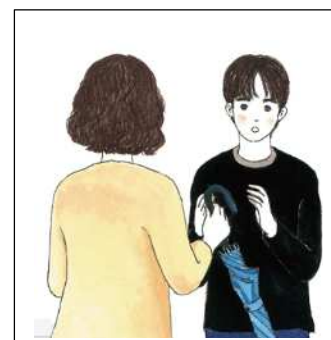
【あらすじ】

ある日の放課後、班で資料を作っているとき、途中で帰ろうとする佐々木くん、「私」は「ジコチュウ！」と言い放ちます。でも佐々木くんは、自分の分担以上の作業は終わらせていたのです。数日後、「私」は小さな子を二人連れて歩く佐々木を見かけます。その後、急な雨で母に傘を届けに行くと、佐々木くんも雨宿りしていました。母は佐々木くんに傘を差し出します。そこで、母がよく佐々木くんをスーパーで見かけていることを知りました。翌日、傘のお礼といっしょに渡された佐々木くんからの手紙には、母の入院で時間のゆとりがないこと、そして同情されたくないからやるべきことはちゃんとやると書かれていました。



【ねらい】

クラスメートの言動を自己中心的だと決めつけていた生徒の物語を通して、考え方や立場の違いを理解し合うためにはどんなことが大切なのかを考え、互いの考えを伝え合い、それぞれの立場を思いやって尊重しようとする実践意欲と態度を育てる。



相互理解をするときに大切なことは、何だろう。

【授業の感想】

- 何も話を聞かずに勝手に決めつけて、キツイ言葉を使うのではなく、しっかり話を聞いたり、相手が話しやすい雰囲気にすることが大切だと思った。自分のことも相手にしっかり話そうと思った。
- 互いを尊重するには、自分の意見や事情を説明し、相手の意見、事情を聞き返す、相手の立場から考えようとするのが大切。
- 私ももしこういう場合だったら、「私」みたいにとっさに口に出してしまいそうだから、少し考えてから言葉を発しようと思った。
- 互いを尊重するには、決めつけず相手の立場になって行動したり、伝えたりすることだと思った。佐々木くんは、やっぱり家族のことも班のことも考えられていて自己中ではないと思った。
- 「私」のように勝手に人の気持ちや考えを決めつけるのではなく、ちゃんと相手の意見を聞こうと思いました。また、「互いを尊重する」というのは、決めつけず、自分自身も話せることは話そうと思った。
- 互いを尊重するには、意見をいい合ったり、他人を思いやるのが大事だと思った。
- きつい言葉を言わないで優しく言えばよかったし、お互いに話し合えばいいと思いました。
- 人は見えるところだけを見ているから、決めつけてしまうんだと思った。
- 「（佐々木くんが）言わなかったのが悪い」という意見が出ていて自分とは違いました。

ご家庭でも「相互理解・寛容」について話し合ってみてください。